

審議した主な議案

令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について

決算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

ながとり太郎 (こがおも)

賛成の主な理由は、①市長が掲げた4つの重点課題への取組、②DXや市報こがねいの全面リニューアル、③子育て・教育環境の充実、④まちづくりの推進、⑤人材育成とコミュニケーションが進んだからである。課題はあるものの、持続可能な小金井市政の運営を期待して賛成する。

反対討論 (要旨)

沖浦あつし (みらい)

事業の単なる賛否ではなく、改善点を指摘しながらも、総合的に行政効果が認められる場合は賛成する立場だが、過年度に渡り再三指摘し、顕在化した事業構築の甘さに対し、トップマネジメントとして有効な手立てを講じなかった結果、職員の無用な労力と疲弊があらわになったことは看過できず、反対する。

賛成討論 (要旨)

清水 学 (自民街仲)

認定の大きな要因は、市長の優先整備路線への考えが変わったことである。従前は「必要性は感じない」との見解が、市の独自検証の結果、小金井3・4・11号線は「必要性は否めない」と変えた。西岡前市長時代から、命を守る道路として必要性を訴え続けてきたため、私の中では非常に大きな意味を持つ。

反対討論 (要旨)

吹春やすたか (自由民主党)

検証結果の疑問点はその後の質疑でも解消されていない。客観性公平性透明性は担保されず、将来に禍根を残す検証である。

反対討論 (要旨)

藤川賢治 (見える化)

①公立保育園廃園条例の無効判決を曲解し原告児童一人のみを通わせ他の園児募集の再開無し。再開しても条例に反しない。②都市計画道路3・4・11号線優先整備路線を市は防災の観点から必要としているが今すぐ既存道路を整備すればよい。③予防接種費が効果検証も無く増大健康被害情報も広く周知すべき。

反対討論 (要旨)

坂井えつ子 (緑・つながる)

市長報告もその撤回も、市政執行の最高責任者としては考えられない軽い行いで、許容の範囲を超えた。撤回に至るまでの過程が不適切だった。新年度都の橋梁等概略設計委託が終わった折に、市として自然環境が守られるように関わりを検討するとしているが、同じ事を起こさぬよう努めることを求める。

令和7年度一般会計補正予算(第4回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

吉良のりこ (みらい)

認知症の方の社会参加推進と発症予防のために、民間や市民団体と連携し、当事者・家族が参加しての企画づくりを評価する。あわせて認可外保育施設助成で安心な保育環境を整え、多様な人が交流できるインクルーシブな公園づくりを進める点を高く評価し賛成する。

賛成討論 (要旨)

遠藤百合子 (自由民主党)

市民の命と暮らしを守るための項目が含まれている重要な補正予算である。

認知症のある人の社会参加推進事業費や介護予防・フレイル予防普及啓発強化事業費が組み込まれていること。また、産後ケア事業委託費や市立公園体験活動支援委託料等が入っていることから賛成とする。

反対討論 (要旨)

森戸よう子 (日本共産党)

市民、保護者の理解が得られておらず、説明責任が果たせていない。子育ての悩みの相談相手になるなど、保護者の抱え所、新たな事業の拡大をするのに、保育士を減らして役割が担えるのか。専決処分は違法・無効という司法の判断を無視した市長の責任は重大である。

賛成討論 (要旨)

天野かな (みらい)

人口減少や市の財政状況、新たな役割を果たすための必要処置であること及び在園児や民間園を利用する保護者との公平性にも配慮があることを踏まえ賛成する。ただし、持続可能でより質の高い保育環境の構築のために新体制の早期確立、在園児への心理的ケア、民間施設との連携強化は強く要望する。

反対討論 (要旨)

片山かおる (子ども／情報)

2園廃園、3園の大幅定員減の本条例は、前市長より悪質な白井版廃園条例であり明確な公約違反である。2024年2月の東京地裁判決文を読み上げる。現在の廃園条例を有効とするこ

とは背理、とされている。司法軽視せず判決に沿って正常な保育行政に戻すため、継続審議とし十分な検討を行うべきである。

賛成討論 (要旨)

河野麻美 (自由民主党)

民間園が市の保育の中核を担っている現実を踏まえ「民でできることは民で」の理念に基づき、公立自ら定員数を是正した点は評価する。しかし新方針は絵に描いた餅の側面があり、公立園の新たな役割や市の体制整備には多くの課題が残る。不断の検証と改善を重ね、柔軟な制度運営を進めることを求める。

反対討論 (要旨)

村上ようすけ (れいわ新選組)

「市民の尊厳と権利」及び「すべての子どもの最善の利益保障」を侵害する内容であり、「子どもの権利条例」にも反するものだ。最大の目的とされている「4つの役割の実現」の実効性が担保されておらず、行政としての支援準備が不十分で公民の保育現場の負担増に繋がり、関係者の要望に反する。

賛成討論 (要旨)

小林正樹 (公明党)

現有の施設や職員といった限られた資源を最大限活用するための方針であり、市立保育園を単純に廃止するものではなく、地域の民間保育施設とも連携し、市全体で質の高い保育を実施できるものと評価する。在園児が卒園するまでの間、最善の保育となるよう寄り添っていただく事を心よりお願い申し上げます。

賛成討論 (要旨)

水合たかこ (こがおも)

市立保育園の役割を定義して職員を確保し、市全体の保育の質を維持・向上する持続可能な仕組みを作るためには、今定例

会での議決が必要。パブコメ後、きょうだい児の入園に配慮し、定員削減の年度を変更する等、できる限り市民の意見を反映した。在園児ケア等は各園で保護者との対話をするべきだ。

賛成討論 (要旨)

たゆ久貴 (日本共産党)

日本共産党は公立保育園の廃園には反対であり、5園維持を求めてきた。廃園への進め方が、各陳情書にあるように保護者との十分な話し合いがされないまま進められていること、陳情書にある段階的縮小が開始されてからの子どもと保護者が経験したことを受け止めるべきであるため、賛成する。

賛成討論 (要旨)

小金井市立保育園の在り方に関する方針に対して、保護者との対話を求める陳情書

議員研修会を開催します

この研修は市民の方にも公開しますので、ぜひ、ご参加ください。

テーマ 広報・広聴研修
日時 令和8年1月15日(木) 午後2時から
場所 小金井市役所本庁舎3階 第一会議室
講師 河井 孝仁氏(東海大学客員教授)
定員 40名(当日先着順)
問合先 議会事務局庶務調査係 ☎042-387-9947

議会報告会を開催します

同じ内容で、2会場で開催します

開催日 令和8年1月17日(土)
①午後1時から 桜町上水会館
②午後7時から 小金井 宮地楽器ホール小ホール
※詳細は決まり次第、市議会ホームページに記載いたします。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

閉会中の委員会日程及び審査案件

議会運営委員会

10月17日(金) 午前10時
11月25日(火) 午後2時

審査案件: 4件

建設環境委員会

10月27日(月) 午前10時
審査案件: 11件

厚生文教委員会

11月6日(木) 午前10時
審査案件: 14件

総務企画委員会

11月11日(火) 午前10時
審査案件: 6件

庁舎等建設及び公共施設

マネジメント推進調査特別委員会

11月12日(水) 午前10時
審査案件: 10件

※各委員会の審査案件はこちらからご覧いただけます。

